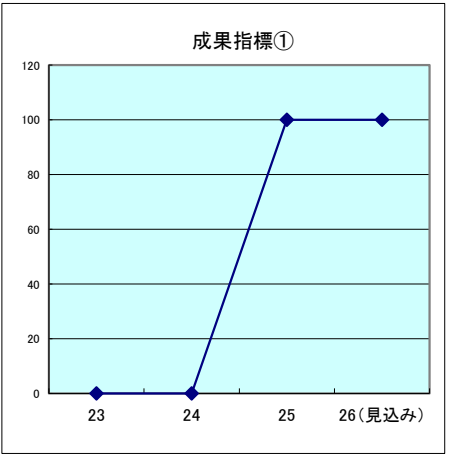
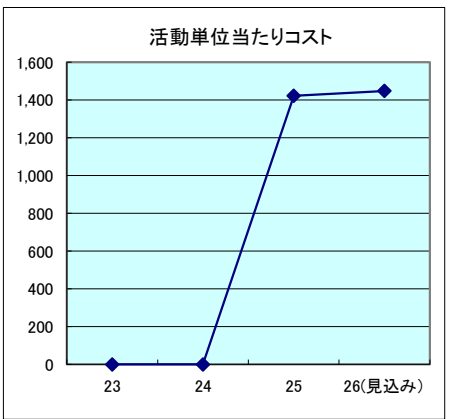


事務事業名			茶山グラウンド管理事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち			款	10	教育費	
	施策(節)	2	学校教育			項	3	中学校費	
	施策の方向	(2)	教育環境の整備・充実			目	1	学校管理費	
関連する計画等					作成部署	教育委員会事務局 学校教育室 教育総務課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 4132			
事業の概要 (目的・内容)			【事業の目的】 市立菅田中学校茶山グラウンド管理棟(テニス部倉庫等を含む)建物及び敷地内の管理業務等を円滑に進めるため、また健康で働く意欲のある高齢者に対し就業の場を提供するため。 【事業内容】 ・管理棟建物及び敷地内の点検、清掃、維持管理 ・管理棟敷地内のトラブルの対応や通報						
根拠法令等									
事業期間			☐ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☒ 5年未満 (平成 25 年度開始)						
事業開始時からの状況変化			平成25年度より菅田中学校茶山グラウンド管理棟施設の管理業務を、羽曳野市シルバー人材センターへ委託開始。						
実施手法			☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委 託 先			☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター) ☐ 民間委託 ☐ その他			委託内容		茶山グラウンド管理棟施設管理業務委託	

区 分		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込み)
事業費【1】	(千円)	0	0	478	520
人件費【2】	(千円)	0	0	0	0
職員数	正規職員	0.00 人	0.00 人	0.05 人	0.05 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考)		0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】		(千円) 0	0	478	520
財源内訳	国庫支出金	(千円) 0	0	0	0
	府支出金	(千円) 0	0	0	0
	市債	(千円) 0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等)	(千円) 0	0	0	0
一般財源【B】		(千円) 0	0	478	521
活動指標 (事業の活動実績)【C】		23年度	24年度	25年度	26年度 (見込み)
① 管理業務 実施日数	日	0	0	336	359
② 管理業務 実施時間	時間	0	0	558	593
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		0 円	0 円	1,423 円	1,448 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		0 円	0 円	1,423 円	1,451 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		0 円	0 円	4 円	5 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			#DIV/0! %	#DIV/0! %	9.0 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☒ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			
※該当項目すべてに✓					



成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	①	管理棟施設等の管理業務達成率	%	目標	0	0	100
		(式又は説明) 100		実績	0	0	100
	②			目標			達成率(%)
		(式又は説明)	実績				100.0%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○					○			

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	当該管理棟施設はトイレ等を市民が利用できるよう日中開放しており、その管理は必要不可欠なものである。 また、働く意欲のある高齢者に対しその場を提供できるものでもあり、その観点からみても、当該業務委託は重要であると考えられる。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	現在、シルバー人材センターの人員2名が交代で日々の管理業務を行っている。 地元 に密接した業務場所のため、人員の確保が難しい状態であるが、民間活力（NPOやボランティア団体）へ協力を依頼できるような体制が整えば、人員の確保や事業費の削減といったことも検討する余地はある。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☐	☒	☐	
		事業費を削減する余地がない	☐	☒	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☐	☐	☒	
	協働性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐	保護者、生徒、地域等の意見・要望を運営管理に反映している。
		事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒	平成25年度より開始の事業のため、前年度との比較が難しい。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など) 今後もシルバー人材センターへの業務委託を予定しているが、ボランティア団体等の協力を得られる体制が整えば、活用材料として検討はできるかと考えられる。 現在、建物等について改修の必要はないが、年月が経過すれば、劣化による修理要望等が出てくる可能性が高いため、利用者に対して適正な維持管理・利用の周知を行う予定である。	
行革本部評価	総合評価	
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
	評価理由・意見	